

会議録

会議の名称	第15回子どもの権利に関する条例策定委員会
開催日時	平成21年5月11日（月曜日）13時00分から15時00分まで
開催場所	庁議室
出席者	（出席委員）野村委員長、猪原副委員長、安部委員、梅村委員、嶋田委員、古川委員、中島委員、丸山委員、石田委員、小林委員 （関係部署）保育課長、児童青少年課長、子ども家庭支援センター長 （事務局）大川部長、西東京市子育て支援課（森下課長、萩原主幹兼係長、倉本主査、矢部主事）
議題	西東京市子どもの権利に関する条例案について
会議資料の名称	（1）目黒区視察まとめ （2）子どもオンブズパーソン制度について （3）子どものけんりニュースNo.2 （4）子どものけんりニュースNo.3
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>発言者名 発言内容</p> <p>森下子育て支援課長 第15回子どもの権利に関する条例策定委員会を開催します。委員長お願いします。</p> <p>野村委員長 第15回委員会を開催する。 配布資料の確認 今回は、子どもの権利条例案について委員会内でのワークショップを行いたい。 目黒区の視察のまとめ、子どもオンブズパーソン制度の資料については、次回議論することとする。</p> <p>安部委員 今回はワークショップ形式で、子どもの権利に関する条例案の基盤となる理念を、皆さんで共有したい。</p> <p>2グループに分かれて次の（1）から（5）についてワークショップ開始 ワークショップ集計参照</p>	

- (1) 「西東京市子どもの権利に関する意識アンケート調査報告書」で印象に残ったこと、驚いたこと
- (2) 「西東京市子どもの権利に関する意識アンケート調査報告書」の結果から読み取れる、子どもと大人の考えのギャップが表れている箇所について。
- (3) 「西東京市子どもの権利に関する条例についての考え方」で示された内容と現実とのギャップ
- (4) 子どもの権利に関する条例案をつくるにあたっての課題・不安、実施するにあたっての課題・不安
- (5) 意見の出た課題を解決するために、条例の制定過程・本文・実施に盛り込みたいこと。課題をクリアにするためにどうすれば良いか。

終了

安部委員

条例について市民にまだ浸透していない状況を打開するために、委員会内である一定の共通基盤が必要である。

今回のワークショップでは、子どもと大人のギャップ、これから条例で考えていきたいことと現実とのギャップ、条例を作っていく際の課題と解決方法を出していただいた。

子どもと大人のギャップがこれだけあるなかで社会の大部分を占める大人の意識を変える必要がある、そのためにまず条例をつくるということが確認できた。

今後これらをまとめ、条例の骨子を確認した後、委員会の共通認識を深めていきたい。

野村委員長

本日はこれで終了する。次回は6月23日。

以上にて終了